

**令和3年度  
全国学力・学習状況調査  
学校の調査結果**



**令和3年12月  
海老名市立杉久保小学校**

令和3年度

# 全国学力・学習状況調査について

## 調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

## 調査内容

### (1)教科に関する調査(国語, 算数・数学)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

### (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査 (例)調査教科への興味・関心、読書時間、勉強時間の状況、ICT機器の使用状況、生活習慣 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

## 調査実施日

令和3年5月27日(木)



# 小学校 国語

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えることができるかどうかをみる。
- ・資料を用いた目的を理解することができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じ、資料を使って話すことができるかどうかをみる。
- ・文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することができるかどうかをみる。
- ・思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使うことができるかどうかをみる。
- ・目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けることができるかどうかをみる。
- ・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができるかどうかをみる。
- ・自分の主張が伝わるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる。
- ・目的や意図に応じて、理由を明確にししながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。
- ・文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる。
- ・文の中における修飾と被修飾の関係を捉えることができるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的にできている点

- 資料を用いた目的を理解することができるかどうかをみる問題は、比較的にできています。
- 目的や意図に応じ、資料を使って話すことができるかどうかをみる問題は、比較的にできています。
- 文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することができるかどうかをみる問題は、比較的にできています。
- 自分の主張が伝わるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる問題は、比較的にできています。

### ◆課題のある点

- 目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けることに課題が見られます。
- 目的や意図に応じて、理由を明確にししながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られます。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 「読書は、国語科で育成を目指す資質・能力をより高める重要な活動の一つである。」ことを踏まえ、読書指導の改善・充実を図るために、学校図書館などを計画的に利用して様々な本などから情報を得て活用する言語活動を取り入れてきました。朝の読書活動については、一昨年度から全校で取り組んできましたが、今後も継続していきます。
- 「書くこと」では、「読むこと」と関連付けて、国語辞典や漢字辞典の利用を習慣づけるように指導してきました。新聞やリーフレットづくりなどでは、相手や目的に応じて自分の考えや理由などを明確にししながら、相手に伝わるような書き表し方を工夫するように指導していきます。
- 社会科や総合的な学習の時間などにおいても、国語科の学習と関連させ、調べ学習や発表の際に、友だちと協働して課題を解決したり、様々な情報の中から必要な情報を選んだりしていけるように指導していきます。

# 小学校 算数

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・問題場面から、必要な数量を選択し、事柄や関係を数学的に表現・処理することができるかどうかをみる。
- ・伴って変わる二つの数量の関係について考察できるかどうかをみる。
- ・異種の二つの量の割合として捉えられる数量の比べ方や表し方について理解しているかどうかをみる。
- ・日常生活に必要な時刻を求めることができるかどうかをみる。
- ・基本図形の面積の求め方について理解しているかどうかをみる。
- ・量の基本的な性質について理解しているかどうかをみる。
- ・図形の計量について、図形を構成する要素などに着目して捉え、筋道を立てて記述できるかどうかをみる。
- ・棒グラフから、データの特徴や傾向を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・データを二つの観点から分類整理し、表に表したり読み取ったりすることができるかどうかをみる。
- ・帯グラフから、複数のデータについての項目の割合を比較し、データの特徴を捉え、表現することができるかどうかをみる。
- ・設定した問題に対して集めるべきデータを判断することができるかどうかをみる。
- ・除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができるかどうかをみる。
- ・除法の意味について理解しているかどうかをみる。
- ・小数を用いた倍の意味について、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目して理解し、考え表現することができるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的にできている点

- 伴って変わる二つの数量の関係について考察することが比較的にできています。
- 棒グラフから、データの特徴や傾向を読み取ることが比較的にできています。
- データを二つの観点から分離整理し、表に表したり読み取ったりすることが比較的にできています。
- 帯グラフから、複数のデータについての項目の割合を比較し、データの特徴を捉え、表現することが比較的にできています。

### ◆課題のある点

- 除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することに課題が見られます。
- 除法の意味について理解しているかに課題が見られます。
- 小数を用いた倍の意味について、数の表し方の仕組みや数の構成する単位に着目して理解し、考え表現することに課題が見られます。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 問題を解く際に、図、式、答えの3点セットを意識すること。また、立式する際に、絵や図を描く活動を取り入れることで、式が何を意味しているのかが理解できるよう指導していきます。  
具体物や図、数直線などを用いて考察する活動を取り入れるなど、式と具体的な場面とを関連付けられるように指導していきます。
- 数量の関係に着目して被除数と除数を捉えて立式をしたり、計算結果について、日常生活の場面に即して判断したりできるように指導していきます。

# 児童質問紙

## 学習について

### ◆本校のよかったところ

- 「国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか。」という設問で、当てはまる、どちらかという当てはまると答えた児童が89.4%いました。県や全国の平均を上回り、言葉の特徴を考えて使っている子が多いことが分かりました。
- 算数では、授業で公式や決まりを習うとき、その訳を理解しようとする児童が多いことがわかりました。

### ◆本校の課題と思われるところ

- 国語でも算数でも勉強が好きな児童はいるが、県や全国の平均を下回りました。
- 国語・算数が大切だと思う児童が、R1年度は、県や全国の平均を上回っていましたが、今年度は、下回る結果となりました。

## 生活について

### ◆本校のよかったところ

- 「学校に行くのが楽しいと思いますか。」という設問では、当てはまる・どちらかという当てはまると答えた児童は89.4%いました。県や全国の平均を上回っています。
- 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という設問では、当てはまる・どちらかという当てはまると答えた児童は、97.6%と、県や全国の平均を上回りました。

### ◆本校の課題と思われるところ

- 「平日における、1日あたりどれくらいの時間、テレビ(コンピュータゲーム、携帯ゲーム・スマートフォンゲームも含む)をしますか。」という設問では、4時間以上ゲームをしている児童が32.9%おり、県や全国の平均を約2倍上回っています。また、平日における1日あたりの勉強時間では、全く勉強しない児童が約5パーセントと、県や全国の平均を上回っています。家庭における学習時間の確保と、ゲームをする時間の約束などが課題として挙げられます。

## 今後の具体的な取組について

- 家庭学習の充実をめざし、学びの手引きなどを示していきます。
- 家庭でのゲームをする時間が多く、学習時間の確保に課題を感じました。児童が興味関心をもって学習できるような家庭学習の充実を図っていきます。
- たくさんの本を読み、言葉の特徴に触れ、様々な使い方を習得できるよう支援していきます。
- SNSでのトラブルが多く、スマートフォンやLINEでのマナー「ネチケツ」を学ぶ機会を設けると共に、家庭に現状を伝え、家庭でのルールを設定するよう呼び掛けていきたいと思ひます。

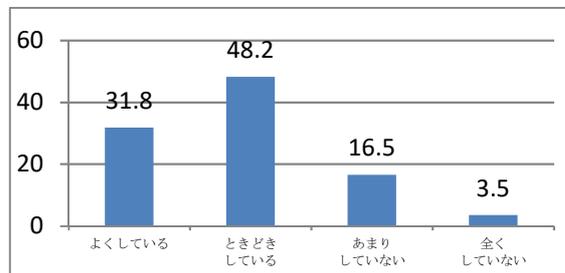
# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

## 1 学習の計画を立てて、勉強しましょう。

10分×学年（6年生は60分）を目安として計画し、毎日継続して家庭学習に取り組みましょう。

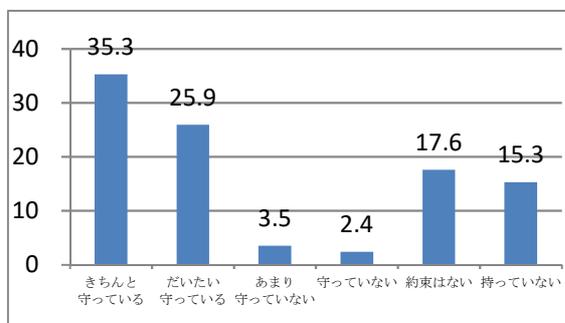
現在、毎日自主学习ノートに取り組む、良い習慣ができていますので、継続して取り組んでいきましょう。



家で計画を立てて勉強していますか

## 2 ICT 機器やインターネットを利用するときには、ルールやマナーを守りましょう。

スマートフォンやSNSが、子どもたちにも急速に普及しています。また、一人一台端末を使う等、ICT機器に触れる機会が増えてきました。それらに伴い、友だち同士のトラブルや犯罪被害等も生じている状況の中、子どもたちが情報モラルを身に付けることが一層重要になっています。ご家庭でもネットやタブレット等の使い方について、話し合ってみてください。

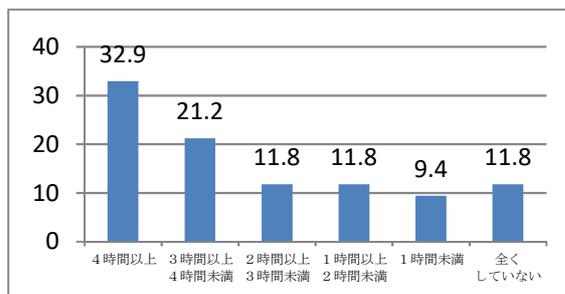


携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。

## 3 ゲームの時間を減らしましょう。

ゲームを長時間続けると、視力の低下につながります。また、外で遊ぶ時間が減り、体を動かす機会が減ると、体力の低下にもつながります。

ゲームは、続けたくるように作られているので、子どもが自分で時間を区切って遊ぶことは、難しいと言えます。ご家庭で、ゲームをやる時間やルールについて、話し合ってみてください。

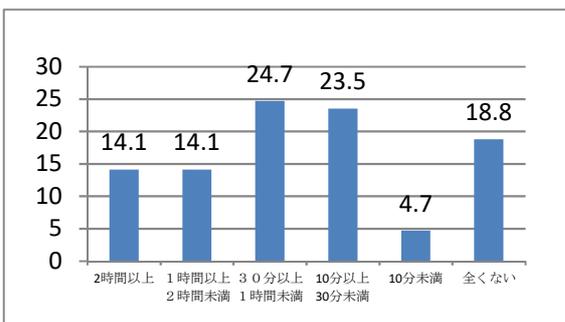


1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。  
(コンピュータやスマートフォン、携帯式のゲームを含む)

## 4 本をたくさん読みましょう。

読書をする、集中力がつくと言われてます。また、多くの単語や漢字に触れることで、語彙力も蓄積されます。子どもの頃にたくさん読書をした人は、心が豊かになり、コミュニケーション能力も養われます。

ゲームの時間を少し減らして、ぜひ読書の時間を増やしましょう。



1日当たり、どれくらいの時間、読書をしていますか。

## 資料 学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。  
(教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より)

### 【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

### 【主体的・対話的で深い学び】

- ・学習した内容を見直し、次の学習につなげている
- ・自分の考えが伝わるように工夫して発表している
- ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる

### 【学級活動、道徳】

- ・学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決している
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、話し合ったりしている

### 【基本的な生活習慣】

- ・朝食を毎日摂る
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る
- ・コンピュータやスマートフォン等でゲームをする時間が短い

### 【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で学習計画を立てて学習をする
- ・家に本が多くある

### 【自尊感情・規範意識】

- ・自分には、よいところがあると思う
- ・自分でやると決めたことはやり遂げる

## 結果の公表にあたって

○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。

○公表することによって、保護者や市民の皆様にも市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



### 【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係

